

【概要・目標】

小児期から老年期に至るライフステージの各段階において、人々の健康に影響を及ぼす生物学的・社会環境的要因と疾病発生との関係について論ずるとともに、集団の健康状態の把握から健康阻害・促進要因の同定、そして疾病予防や健康増進のための有効な手段を導くための疫学的なアプローチについて解説する。さらに、疫学研究で汎用される統計解析手法を紹介する。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 疫学の定義と特徴
 - 2) 疫学研究方法（記述疫学、分析疫学）
 - 3) 疫学研究方法（介入研究）
 - 4) 疫学研究におけるエビデンスの質、因果関係の推論
 - 5) 集団の疾病頻度の測定
 - 6) 曝露効果の評価
 - 7) 誤差とバイアスの種類
 - 8) バイアスの制御(1) 選択バイアス、情報バイアス
 - 9) バイアスの制御(2) 交絡バイアス
 - 10) 曝露と疾病の関連の分析(1) 重回帰分析・ロジスティック回帰分析
 - 11) 曝露と疾病の関連の分析(2) 生存分析、Cox 比例ハザードモデル
 - 12) 曝露と疾病の関連の分析(3) 感度・特異度、ROC 解析
 - 13) 生活習慣病の疫学と予防(1) 食生活・栄養、飲酒
 - 14) 生活習慣病の疫学と予防(2) 身体活動、喫煙
 - 15) 生活習慣病の疫学と予防(3) ストレス、ソーシャルキャピタル
-

【評価】

参加態度（20%）、発表・討議（80%）により評価する。

【テキスト】

使用しない（資料を配付する）

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】

第 13～15 回はプレゼンテーションとディスカッションによる院生主体の講義を行う。

連絡先：miyain@wakayama-med.ac.jp